

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活援助Ⅰ（活動と休息・安楽）		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	20（1） 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	202, 203、実習室
担 当 教 員	寺崎 経子	実務経験と その関連資格	総合病院にて臨床経験（主に小児病棟勤務）、教員経験、地域の学校看護師経験			
《科目目標》						
対象の状態に応じた活動・休息の援助を原理原則に基づき安全安楽に実施する方法を考え実践できる 対象の状態に応じた安楽の援助を原理原則に基づき安全安楽に実施する方法を考え実践できる						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】課題・理解度テスト50％、終講試験50％の割合で評価する。（技術チェック合格を必須とする） 【評価基準】成績は優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満で表す。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
①事前・事後学習を行い授業に出席する。 ②指示している動画を視聴して出席する。						
《履修に当たっての留意点》						
①提出物は、クラス単位で回収し指定した時間を守り提出する。 ②グループワークや意見交換は時間を有効に積極的に行う。 ③安全、安楽な援助を実施できるように自己で技術の向上に努める。 ④言える、書ける、行動できるよう主体的学習姿勢で臨む。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	姿勢、体位を理解できる。		教科書 配付資料	事前学習課題①を授業までに実施。
		各コマにおける授業予定	事前学習で同一体位で30分、動かない体験を実施。体位の調べ学習とGW(グループワーク)で分からないこと解決。			
第2回	講義 形式	授業を通じての到達目標	安楽な体位・良肢位を理解できる。		教科書 配付資料 演習(ジャージ)	事前学習課題②を授業までに実施。 教科書P58～61まで読んでくる
		各コマにおける授業予定	実際に安楽な体位を体験する。 ①仰臥位 ②側臥位 ③ファールー位・セミファールー位をグループで 看護師役、患者役と観察者、説明者で体験。 グループで学習し分かったことをワークシートに記入。			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを用いた援助の実践がわかる。		教科書 配付資料 演習(ジャージ) GW	P103、105、106の動画をみてる。 事前に課題③を授業までに実施。 学習課題③は最後まで記入し提出
		各コマにおける授業予定	①ボディメカニクスとは②看護者の身体の安定を良くする③作業域を考慮する④力を効率良く用いるをグループで看護師役、患者役と観察者、説明者で体験。グループで学習し分かったことをワークシートに記入。			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	体位変換をボディメカニクスを用いて実践できる。		教科書 配付資料 演習(ジャージ)	各自①～⑦の手順書を自己作成 P216、218、219の動画をみてる。
		各コマにおける授業予定	①水平移動②仰臥位から側臥位③仰臥位から長座位④水平移動⑤仰臥位から端座位⑥端座位から立位 安楽枕を使用。患者役と看護師役を体験。 看護師体験を動画撮影し振り返る。体験を動画撮影し振り返る。			
第5回	講義 形式	授業を通じての到達目標	車椅子移動、ストレッチャー移動ができる。 関節可動域を理解し床上運動を実施できる。		教科書 配布資料 演習(ジャージ) GW	各自①～④の手順書を自己作成 P223、224、225、231、235の動画をみてる。
		各コマにおける授業予定	①車椅子移動②ストレッチャー移動・移送③歩行を患者役、看護師役を体験する。体験を動画撮影し振り返る。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	左麻痺患者の移動について安全・安楽に配慮した援助を実践できる。	GW (1G6名～7名)	次回発表の準備
		各コマにおける授業予定	①左片麻痺患者の特徴 ②援助時の留意点や配慮 安全な援助についてグループワークする		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	左麻痺患者の移動について安全・安楽に配慮した援助を実践できる。	ロールプレイ発表 (グループ全員で) 演習 発表5分 質疑応答5分	手順書に分かったことを追加する
		各コマにおける授業予定	①ベッドから座位②座位から車椅子③車椅子の移送④車椅子からトイレ⑤トイレから車椅子⑥車椅子からベッド⑦ベッドから臥床の各グループ ロールプレイ発表		
第8回	講義 形式	授業を通じての到達目標	左麻痺患者の車いす移乗が安全・安楽に配慮し実践できる。	技術チェック 理解度テスト 演習(ジャージ)	看護師役、患者役に分かれ順番に技術チェックを受ける 待機中は理解度テストを受ける
		各コマにおける授業予定	【技術チェック】 ベッド上仰臥位から端坐位→端坐位から車いす移乗まで 【理解度テスト】		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	床上運動(関節可動域訓練)、歩行介助が実践できる	教科書 配布資料 演習(ジャージ) GW	事前に手順書を作成し、授業終了時に提出
		各コマにおける授業予定	①床上運動(関節可動域訓練) ②歩行介助(歩行器、松葉杖、杖歩行)		
第15回	講義 形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		